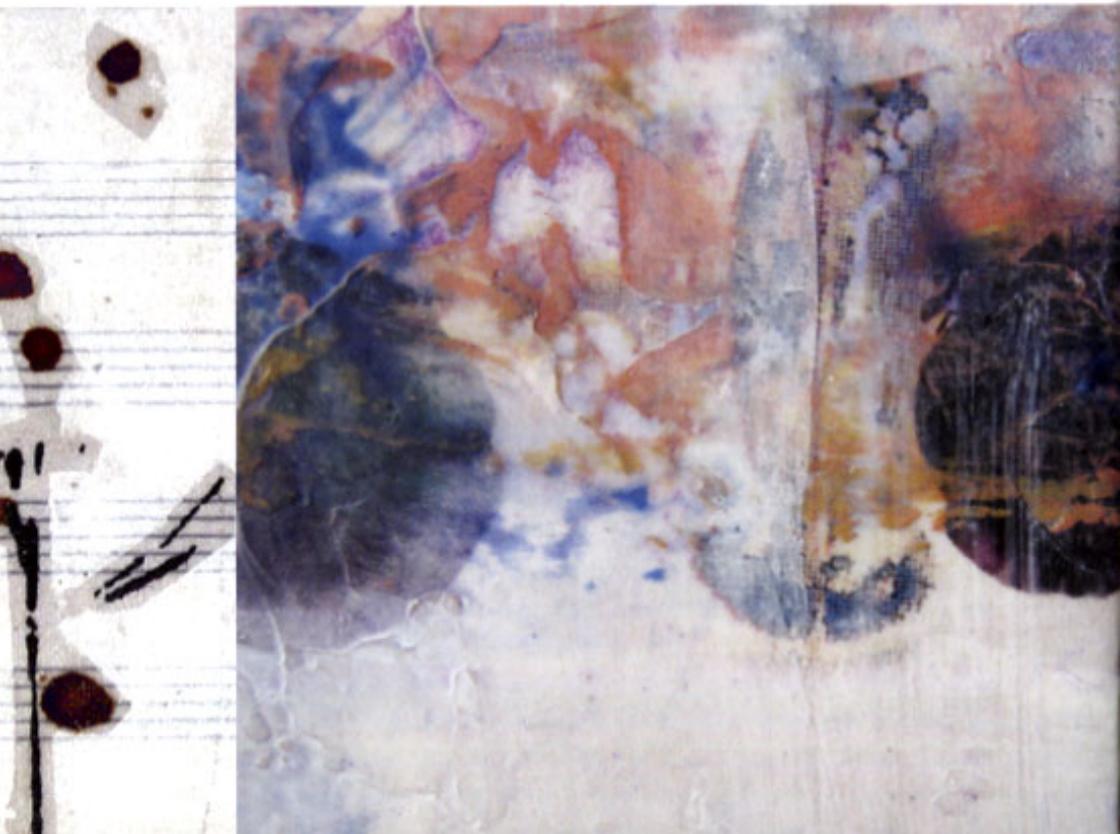


船 団

第104号

特集

俳句を壊す



つじ あきこ

パティシエの帽子つんつん天高し
蛇穴に消えたわけではありません
落とし穴たしかこの辺芒の穂
ちよつと顔上げれば銀杏散る銀杏
綿虫やじゃまじゃま話が途切れてく
みるからに猛勉強中冬雀
人生の半分ぎつちよみかん剥く

辻 久々

耳内へ「耳」澄まし居る冬籠
「変身」やいろはにはほへと鎌鼬
「月に吠える」闇なまめかし火事明り
箱船の「夜間飛行」や冬銀河
「白鯨」の腹さらす浜波の花
「燈台へ」新雪の道火の匂ひ
旅終へて「夜の果への旅」始

● 会員作品 ●

辻村 拓夫

浅漬の日野菜つまめば秋の足る
灰皿はオブジェと花野行きのバス
秋の蚊の道の駅までさまよえり
温め酒千鳥足なる夢の父
百年先へ響け太鼓の秋祭
夜の更けて硬目の柿と語り合う
三人が空に並んで松手入

津田 このみ

小春日の猫のいそうな道通る
恋人の去りて残りし葱二本
殺人兵器めいて塩鮭この塩気
着ぶくれて餃子包んでいたるかな
虫時雨檀蜜隠れているだろう
冬茜テレビは食ぶることばかり
神様に逢えぬ一生掘炬燵

土谷 倫

玉虫を天与の彩と思ひけり
柚子坊やこともあらうに家に生れ
片減りの靴の気になる帰燕かな
大正の玻璃戸や秋日差す生家
丹波より荷の届きたる十三夜
LFD灯す食卓きのこ飯
増築の話を訪めて冬木の芽

津波古 江津

睡蓮は広がってから考える
木の高さ葛のたかさのねむりかな
いたどりは雲吐きながら咲いており
大いなる蜘蛛よこぎっている良夜
秋風に嗚呼立たされて紙コップ
はらわたに曲り角ある小春かな
地下鉄はとわに枯野をかけめぐる

● 会員作品 ●

坪内 稔典

鯉跳んで昼の火星が接近中
頭突きして太るかりんも弟も
君寄りの気分柿などころがして
秋へ置く黒い漆の硯箱
君のその気骨おでんの玉子にも
ヒトに影ウマにはしつぱ十二月
十二月八日あんパン半分こ

鶴濱 節子

美しき男の耳と黒葡萄
友人と知人の間秋時雨
紅葉して湖族の人と会釈して
こんにやくのふるえ止まらず晩秋
生きるのも死ぬるも遊び毛糸編む
くねくねの十一月をたぶたぶと
石路咲いて岬日和をあんパンと

中原 幸子

夕ぐれて頭を使うときかばちゃ

亡霊にくわしき男新豆腐

子規の忌の雑収入と雑支出

皿まるく目薬しづく秋の暮

急に冬急にまるまるとあんパン

ひらひらとさざんかさざんかふと絵の具

手も足も視線もきれいな芋焼ける

中村 あいこ

西瓜食う赤い電車に乗って来た

丸齧りする人が好き青林檎

嗚呼未来永劫向日葵は黄色

カンナ咲く大股でゆくお母さん

自転車を止めて葉月の立ち話

月蝕や世間話をそれぞれに

神の留守一輪挿しのお手洗い

●会員作品●

梨地 ことこ

ふかし甘藷写真の父の目の行方

つくつくし恋も死するも永々と

小鳥くる不惑の人よ惑ってみたら？

栗ごはん炊ける彼だし「了解」

秋の水私を流れる水は何色

のちの月永田町に京大原に

おち葉おち葉母と只今交・信・中

南北 佳昭

冬瓜の黙りこくつてゐるかたち

ワルシヤワの人は美し秋時雨

城跡のゴールデンシヤワーてふ秋日

辻立ちの僧に喜捨せむ京の秋

曼殊沙華写楽の描く大首絵

三島忌やエンドロールに続く闇

木枯1号続く鉄人28

はしもと 風里

直感の冴える一日日記買ふ

二年ぶりのともだち綺麗冬の雷

オリブオイルに果実の匂ひ今朝の冬

薦紅葉秒針の音耳ざはり

冬薔薇何年生きても話し下手

銀杏散るかつて此処にはブランコが

冬暖かバイブルの角傷みけり

長谷川 博

土踏まずにも見せてやる今日の月

イカ焼きの列に加わる風九月

悟り開いて飛ぶかおい秋の蠅

串カツの十一本目天高し

ジャパニーズスマイルで剥くら・フランス

文化の日回転寿司の金の皿

年寄り増えたそれがどうした冬うらら

● 会員作品 ●

火箱 ひろ

子規の忌の右に同じくマグロ丼

犬雑種わたくし雑種水澄めり

台風の通り過ぎたるおかめそば

きのう歯医者きようは落柿舎いぼむしり

鹿鳴くよ一番いいころとうに過ぎ

座布団と義兄と干されている小春

遊ぼうかムササビとなら真夜を飛び

陽山 道子

夕空に秋風吹いてプチ家出

晩秋のうなじくすぐる二枚舌

やあときてじゃあと手を振る紅葉山

黄落のしずもる岬奥琵琶湖

骨付きのチキン頬ばる初時雨

ダンボール叩けばへこむ冬がきて

冬木立地球のでこぼこぼこ歩く

ふけ としこ

コスモスのまばらに咲いて埋めつくす

松本駅0番ホーム秋の蝶

栗蒸して菓匠高橋孫左衛門

鹿の背をすべる日差と草の絮

生家とは熟れ放題に柿榎櫓

鳥打帽のひさしの歪み火恋し

短日や駅に階段配置の図

藤井 なお子

立冬や謎の部品が落ちている

紙袋などは地に置き冬の虹

寒風を挟む北館南館

いくつもの帽子を試着して師走

標をしばし物色会社員

アウトドア仕様のかかと山眠る

古本の中の長嶋冬ぬくし

●会員作品●

